

第2回 人★インタビュー Season2

県南支部 かすみがうら市 竹内行政書士事務所

～竹内 崇先生インタビュー～

建設業関係業務に特化した事業展開・事務所経営を行うと共に本会の副会長と県南支部副支部長等を長年に渡って務めている竹内崇先生。誰に対しても分け隔てなく接し、新入会員等からの相談（専門業務や経営）にとっても丁寧に応えてくれます。また、会議等の際に美味しいどら焼きを差し入れていただくことも度々……。

（聞き手 通信員 澁谷 輝男）



【通信員】 行政書士となったきっかけは何ですか？

【竹内崇先生】 大学生の時にバブル経済が崩壊しまして、まさに就職氷河期の真っただ中でした。何とか大手鉄鋼メーカーの関連会社に就職できたのですが、ブラック企業と言いますか、自分が理想とした社会人像とは大きくかけ離れていました。

またバブル経済の崩壊に伴って山一証券や北海道拓殖銀行、ゼネコン等の大企業が次々と倒産していくのを目の当たりにし、会社に頼ったサラリーマン生活に危機感を感じました。そこで自立自営の生活を送るために起業しようと考えた訳です。何か資格を取得した方が良いだろうと思って専門学校に行ったところ、直近で開講する講座が行政書士と宅建でしたので両方とも受講申し込んだ次第です。

無事に合格し、2000年5月1日に開業しました。

【通信員】 前職の経験で役に立ったことは何ですか？

【竹内崇先生】 新規開拓営業ですね。会社員時代の上司が非常に厳しく、精神的に追い込まれた時期もありましたが、飛び込み営業に慣れました。心臓が強くなったと思います。また「お客様第一主義」を叩き込まれたことが大きな財産になっています。心臓（ハート）が温かくなったと思います。

【通信員】 開業時に頑張って良かったこと、無駄だったことはありますか？

【竹内崇先生】 開業当初は前職での営業経験や人脈を頼りにガムシャラに営業しました。非効率な部分もありましたが、フットワーク良く動いたことが今につながっていると思います。無駄なことは無かったと自分に言い聞かせています。（笑）

また、青年会議所（JC）や商工会議所、ロータリークラブ、法人会、間税会、警察官友の会等に入会し、積極的にお世話役（役員）を務めさせていただきました。これにより人脈が広がり、仕事をご紹介いただくことが徐々に増えました。まずは信頼関係の構築が重要ですね。

開業以来、他士業（弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、土地家屋調査士、社会保険労務士、不動産鑑定士、建築士等）の先生方とネットワークを構築してきたことも大きいです。他士業の先生方からたくさんのお客様を紹介していただきました。逆に、こちらから他士業の先生にお客様を紹介することも多いです。「ギブアンドテイク」「ウインウイン」ですね。

【通信員】 業務が軌道に乗った時期や転換期はありましたか？

【竹内崇先生】 開業後3年目を迎えた頃に軌道に乗ったような気がします。営業活動を全く行わなくてもお客様からの紹介だけで仕事(収入)が回り始めました。

開業してから10年を過ぎた頃に業務プロセスの見直しと業務効率化を図りました。その中心となったのが建設業関係業務に特化したことです。これが大きな転換期となり、建設会社や不動産会社、デベロッパー等から定期的な業務を受注することにつながりました。

【通信員】 得意とする業務分野や印象に残っている出来事を教えてください。

【竹内崇先生】 建設業関係業務(許可、経営事項審査、入札参加資格申請等)を中心に行っておりますので、スペシャリストとしてお客様の様々な要望にお応えできるように知識と経験を磨いていきたいと思えます。

印象に残っている出来事は、皆さんも同じかと思いますが、開業後に初めていただいた仕事です。これが建設業許可の更新でした。決算変更届を5年分提出していないお客様だったのでいろいろと勉強させていただきました。大変だった分、許可が下りた時は本当に嬉しかったですね。

【通信員】 開業したての新人へのアドバイスをお願いします。

【竹内崇先生】 「お客さま第一主義」を忘れず、稼げる行政書士を目指していただければと思います。雑誌やインターネットなどで「行政書士は食べていけない」などと揶揄されることがありますが、あたり前の営業活動をしっかり行っていけば仕事は増えていきます。まずは知ってもらう、覚えてもらうことに取り組みましょう。

そして稼ぐためには、経営者としての事業計画

や戦略・戦術の構築、PDCA、人材育成、専門知識の習得などが必要になります。一歩ずつ着実に歩んでいただけることを願っています。

【通信員】 余暇はどのように過ごされていますか？

【竹内崇先生】 読書が大好きです。小説、ビジネス書、自己啓発書、法律書などジャンルを問わず何でも読みます。年間で100冊以上になると思います。本屋に2時間位滞在していることもありますね。

【通信員】 行政書士の役割や目標などについてお伺いします。

【竹内崇先生】 現在、行政書士は、行政機関と市民の皆さまを結ぶ重要なパイプ役を担っていますが、開業したての頃(20年以上前)は行政機関から行政書士に対する信頼度が低く、軽く見られていた感がありました。その後、諸先輩方が行政機関に足繁く通い、ネットワークを広げながら信頼関係の醸成や行政書士制度の理解・普及、行政書士の質的向上を図るための研修会の充実などを推進したことによりパイプ役を担えるようになってきたと思えます。

現在、本会の副会長と県南支部の副支部長を務めさせていただいております。会員の皆様に役立てるよう努めていきたいと思えます。特に皆様の業務が円滑に行えるよう関係諸機関との調整や効率化、信頼関係の更なる構築を図ってまいります。また、行政書士が関わる業務の認知度向上を図り、仕事が取れる環境づくりを推進したいと考えています。

本業とは離れますが、細やかな社会貢献活動として定期的に献血を行っておりまして、現在313回になります。また、骨髄バンクに登録し、これまでに1度骨髄を提供したことがあります。命を救うお手伝いを出来たことが本当に嬉しかったです。

ご多忙にもかかわらず、快くインタビューを引き受けていただきまして誠にありがとうございました。行政書士会の役員をはじめ各種団体の役員を務めながら行政書士の認知度や地位の向上を図り、事務所経営のノウハウも提供している竹内崇先生。いろいろな相談に親身に応えてくれますので、開業したての方は気軽にご相談を。